

平成24年行政事業レビューシート (総務省)

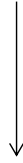
事業名	児童ポルノサイトのブロッキングに関する実証実験	担当部局庁	総合通信基盤局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度	担当課室	消費者行政課	課長 玉田 康人			
会計区分	一般会計	施策名	V-4 情報通信技術利用環境の整備				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条	関係する計画、通知等	児童ポルノ排除総合対策(平成22年7月27日 犯罪対策関係会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程度 以内)	インターネット上の児童ポルノ画像の流通・閲覧防止策であるブロッキングは、表現の自由等を確保する観点から、精度の高い方式を安定的に運用する必要があるため、実証実験を通じて、ISPの規模に応じた精度の高いブロッキング方式の開発・実証を行い、その導入を支援する。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	ブロッキングは、憲法上の重要な権利である通信の秘密や表現の自由に不当な影響を及ぼさない運用に配慮することが重要であるが、児童ポルノ以外の適法なサイト等をブロッキングしてしまうオーバーブロッキングや、ブロッキングにより世界的なネットワークに意図しない障害を発生させるおそれがある等の技術的課題がある。上記の課題を解決し、広くブロッキングを普及させるため、ISPの規模に見合った精度の高いブロッキング方式の開発を行い、その導入に向けた支援・環境整備という政府の役割を果たすために、実際の利用環境を想定した実証実験を実施し、ISPがブロッキングを円滑に導入できるようなガイドラインの策定を目指す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状況	当初予算	-	-	472	472	472
		補正予算	-	-	0	0	
		繰越し等	-	-	0	0	
		計	-	-	472	472	472
	執行額	-	-	450			
執行率(%)	-	-	95.3%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、ISPの規模に見合った精度の高いブロッキング方式の開発を行うものであり、定量的な成果目標を示すことは困難。			成果実績	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実証実験参加ISP(8社)におけるユーザ数。			活動実績 (当初見込み)	-	-	約5,900万ユーザ (約345万ユーザ)
単位当たり コスト	約7.63(円/1ユーザ)		算出根拠	平成23年度実証実験に係る執行額を実証実験参加ISP(8社)におけるユーザ数(約5,900万ユーザ以上)で除した数。			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	電気通信技術研究開発調査費	472	472				
	計	472	472				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	犯罪対策閣僚会議において、政府が、事業者によるブロッキングの自主的導入に向けた環境整備を積極的に行うとされていることから、優先度が高く、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約に当たっては公募を経て適切に事業者を決定しており、支出先の選定は妥当であるとともに、多くのユーザを持つISP(8社)をはじめとし、実証実験には広く関係者に参画いただいております。単位当たりのコストの削減につながっている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本実証実験に多くのユーザを持つISP(8社)が参加するなど実際のインターネット利用環境に近い、実効性が高い体制を構築し、十分な成果・活動実績を挙げている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>インターネット上の児童ポルノ画像の流通・閲覧防止策であるブロッキングについては、犯罪対策閣僚会議において、政府が、事業者によるブロッキングの自主的導入に向けた環境整備を積極的に行うとされており、優先度が高く、国が実施すべき事業である。契約に当たっては、公募を経て適切に事業者を決定している。実証実験を通じ、精度の高い方式の安定的な運用に資するよう、ISPの規模に応じたブロッキング方式の開発・実証を行っており、その成果物として報告書がとりまとめられた。本報告書については、プロバイダがブロッキングを円滑に導入するための事業者によるガイドラインの策定に向け、活用することとしている。また、実証実験には多くのユーザを持つISP(8社)や児童ポルノサイトアドレスリスト作成管理団体等幅広く関係者が参画しており、十分な成果・活動実績を挙げている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	更なる経費の効率化を図るべき		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>実証実験経費について、引き続き精査を行い、効率化を実施。 また実証実験の結果を踏まえ、ブロッキングの円滑な導入が可能となるようガイドライン策定の支援を実施するなど、予算執行が効率的に成果に結びつくよう取り組んでいる。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-0019

※平成23年度実績を記入

総務省
450百万円

・児童ポルノサイトのブロッキング実証実験に対する支援



【 随意契約(公募) 】

A. NTTコミュニケーションズ
450百万円

・児童ポルノサイトのブロッキング実証実験の実施
・多数のISPや児童ポルノサイトアドレスリスト作成・管理団体等幅広く関係者が参画した児童ポルノ実証実験連絡会の設置
・海外調査、ISPへの意向調査の実施 等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. NTTコミュニケーションズ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	実証実験実施／個別調査／進捗管理 等／管理部門	360			
物品費等	実験環境構築／リース等	69			
その他	ISP動向調査／海外動向調査	21			
計		450	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTコミュニケーションズ	児童ポルノサイトのブロッキング実証実験の実施等	450	随意契約 (公募)	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					